

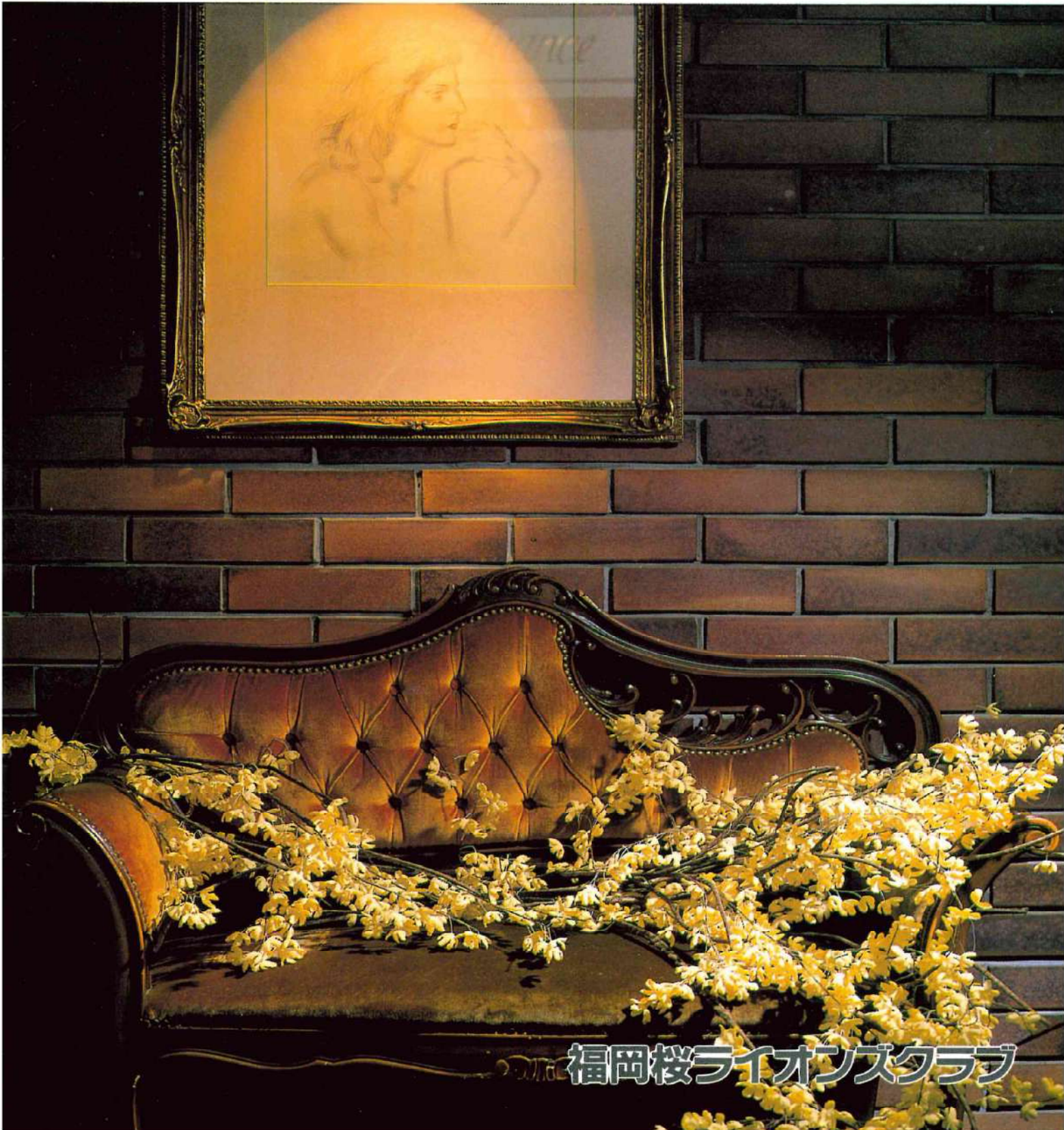
花の語らい



ライオンズクラブ国際協会
337A地区7R3区

1995・7～1996・6

第5号

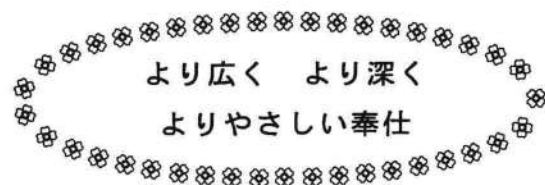


福岡桜ライオンズクラブ



FUKUOKA SAKURA
LIONS CLUB

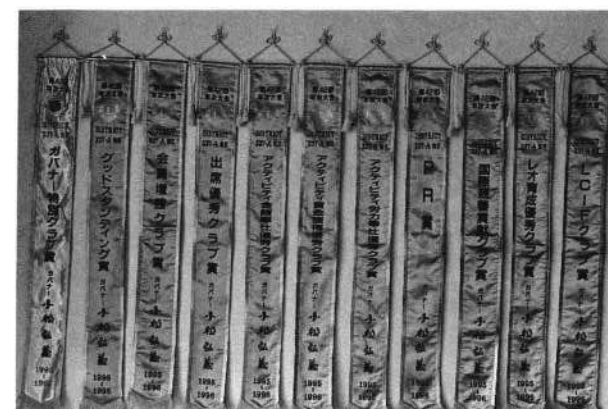
会長提言



目次

第42回年次大会アワード	1
会長挨拶	(L 山本千鶴子) 3
7R・2Z・ZC	(L 松井 和子) 4
幹事	(L 油布 征子) 5
会計	(L 飯田 馨子) 6
テールツイスター	(L 井川ケイ子) 7
座談会	
指導力育成・ライオンズ情報委員会	8
大会・接待・会則委員会	12
会員・出席委員会	16
財務・計画委員会	19
公衆安全・社会福祉委員会及び市民・環境保全・ アクティビティ・教育・レクリエーション委員会	24
YEプログラム・国際関係プログラム委員会	28
視力聴力保護・薬害・保健・ 糖尿病教育・レオプログラム委員会	33
次期会長挨拶	(L 濱田 光江) 35
アクティビティ	36
編集後記	(PR会報編集委員) 38

表紙の花 L 山川久美子
題 字 L 江口つや子



クラブの部

- * ガバナー特別クラブ賞
- * グッドスタンディング賞
- * 会員増強クラブ賞
- * 出席優秀クラブ賞
- * アクティビティ金銭奉仕優秀クラブ賞
- * アクティビティ労力奉仕優秀クラブ賞
- * アクティビティ資金獲得優秀クラブ賞
- * PR賞
- * 国際親善貢献クラブ賞
- * レオ育成優秀クラブ賞
- * LCIFクラブ賞





会長職を 終わるにあたり

会長 L 山本 千鶴子



木々の新芽が希望に満ちて蕾をふくらませております。その蕾もすぐに小さな若葉になりすぐ輝いてまいります。私も昨年は若芽として芽吹きしたことを思い出しております。そのさわやかな季節に無事…？役目を終える事を嬉しく、その幸せをじっとかみしめております。

昨年の七月よりの一年、長かったようでアッというまの一年でした。会員の皆様には大変なご支援とご協力をいただきまして、ありがとうございました。

感謝致しております。お蔭様でアワードもたくさん戴く事ができました。

「終わりよければすべてよし」との諺もありますように、今は何もかも夢の中の出来事のように。おしゃべりする事は上手ですが、話す事が下手な私がこの一年間でどうにか話ができるようになりました。ほんとにいろいろ勉強させていただきました。

途中弱気になった私を叱咤激励してくれたL 油布幹事、L 飯田会計、おかげさまで頑張る事ができました。二度と体験できない素晴らしい期間に「我々は奉仕する」との理念のもと、会員一丸となつての資金獲得事業や、地域社会に対して健康に関する講演会等を成功させる事ができました。各委員長や会員の皆様ほんとうにありがとうございました。

最後になりましたが、会員皆様のご多幸とご健勝を祈り、桜ライオンズクラブの益々の発展を願い、次期会長 L 浜田光江にご協力ご支援をお願い致しまして私のごあいさつと致します。



雑 感

7R・2Z・ZC L 松 井 和 子



新緑、朝日に映えた若葉の緑が美しい山間の道をバスは走っていた。木々の生命の賛歌が聞こえてくるような……………。

中では子供の頃歌った数々の童謡が流れていて、私は眠たい気持ちでその歌を聞きながら、こんなにゆっくりと時の流れを感じる時間がこの頃あったらどうかと考えていた。頭の中に次々と

生まれてくる何かがあるすばらしい時間。何とも知れぬ雑用に追われ追われの毎日が妙につまらなく思えたのである。後方の席ではカンピールを片手に話はもり上ってる様子。

これは桜LCの恒例となっている一泊二日の親睦旅行のひとシーンである。この旅行が終ると今期もあとわずかと終りを告げる楽しい行事である。私はZCと云う大役をいただき、楽しく勉強させていただいた事を大変嬉しく思う。新しい世界との出会い、新しい人との出会い、新しい事との出会い、すべてが「未知との出会い」だったと思う。クラブ内では会長をはじめ会員皆様方の心ある御支援、御協力をいただき、そのおかげでZCとしての一年間を無事終ることが出来、感謝の気持ちでいっぱいです。人間であるから、ささいな事で感情の行きちがいがあって当然の事と思う。

しかし、LCは奉仕を目的とした集まりである。奉仕の会であると考えれば、寛大な気持ちになれるはずである。お互いに楽しく仲良く広い心で桜の木を大きく育てて行くではありませんか。

先日、テレビで八十才前後のおばあさんが「私は何もする事がなくて、何の役にも立たない、お迎えを待つばかりです」としょんぼり話していた。桜LCの会員（その年齢に近い人もいる）がそんな事を考えるだろうか。みんな生き生きとし目は輝いている。奉仕の場があり、奉仕の仲間がいるから。

雑用に追われ、どんなに忙しくても、やっぱり奉仕の出来る自分は幸せだと今感じている。

感 謝

幹 事 L 油 布 征 子



七月のソウルでの国際大会参加に始まったこの一年、幹事は会長の秘書です、との会長からの言葉に少々まとまどいながら、会長提言に基づいて、会長が計画していられやう事が成功していく様、最大の努力をしよう自分なりに心に決めたのが昨日の様です。各委員長さん達のそれぞれの考え方、個性、そして行動力に頼り、そして感心しながら、各事業等が終る毎にホッとしたり、自分のいたるなさを反省したり。

ボランティアはやってあげるのではなく、やらしていただくとはよく言われる事ですが、それと同時に、LCという組織の中で活動していくには、組織の仕組みをよく知り、決まりを守りながら実践していく事の大切さを知りました。社会生活の中でどちらかといえば、指示を受ける側より、指示をする立場の方が多いと思いますが、そういう方々がWe Serveを旗印に、国際、地域、クラブと、その年の各リーダーのもとで、従い努力していく、それが年々積み重ねられ、LCの歴史がつけられていくのでしょうか。そんな中で会員の皆さんと仲よくなったり、指示される側の立場を理解し、自分を成長させたりする事が、見返りを求めていけないボランティア活動の中での一番の見返りだと思います。幹事というお役目を通して、いろいろ学ばしていただいた事が、これからの自分の人生に、又、クラブの活動に参加していく中で、少しでも役に立てていけたらと思います。

「批判する人は多いが実践する人は少ない」「我以外皆師也」この二つの言葉を胸に、悩みながらの一年でしたが、二月末のアワード申請をするにあたり、各委員会の活動、会員さんの活躍をひとつひとつ、これまでの写真や書類を見なおしていくうち、福岡桜



LCはがんばるなァー、と思わずひとりつぶやいておりました。会長、そして会員の皆様に御迷惑をおかけした事も多々あったと思いますが、とりあえず一生懸命やったという心意気に免じて、おゆるし願えたらと存じます。

皆様ありがとうございました。

会計を了えて

会計 L 飯田 馨子



新緑の深まりと共に今年度もいよいよ終り近くになって参りました。会員皆様の寛容なお心と、御協力に支えられまして、つまづきながらも、なんとか役を終え様として居ります。御力添え、本当に有り難うございました。

月毎に送られて参ります試算表を眺める度に驚きました事は、事業資金の増加の様子で、ついに当初予算の倍近くも寄せられました事です。

L C I F、ドネーション、簡保組合事業の利益、等々すべて皆様の御協力によるものばかりです。それにつけても忘れられないのが、資金獲得事業のあれこれ、まず、チャリティゴルフコンペのこと、前夜迄の悪天候が当日は見事な快晴となり正に「桜日和」、参加者も二百名近い大競技会となりました。素敵なゴルフ場で、プレイヤーも手伝う人も楽しみながらの一日で、事業資金もたっぷり頂く事が出来ました。

納涼例会、チャーター記念例会でのオークションも言うまでもありません。せり係の名調子にのせられて大賑わいのうちに、成果倍増の勢いで資金が集められました。

一方、この様にして集められました資金を、数々の活動に有効に使うことも、なかなかの大仕事でした。何しろ十二月までの前半六ヶ月の間に、前記の資金獲得事業も、奉仕活動も、その他大部分の行事も集中して行わなければなりませんので会員の皆様も、ずい分とお忙しい思いの前半だった事と存じます。

十一月始めに行われました「美しく年を重ねる」をテーマとした講演会には、会場一杯の聴衆が集まり盛会でした。又、同時に西日本新聞にも掲載致しましたが、私のところへも県内各地（門司、飯塚、八女それに福岡市内）に住む友人から早速電話がありました。マスコミを通じて、スピーディに、実に多くの人々が関心をもって読んで下さった様子がよくわかり、大変うれしく思いました。この事業には、可成り多額の資金も使われましたが、それに見合う効果は十分にあった様に思われます。広く地域社会への働きかけが出来、又ライオンズ活動についての認識を深めて貰うPRにも十分役立った事と思います。

一方これまで継続して来た数々のアクティビティや、さゝやかなプレゼントが深い喜びや感動を呼び、胸の奥深く沁み入る様な感銘を受けた事も度々でした。特別養護老人ホーム「ビハール」へ温泉のお湯をお届けした時、挨拶に立たれたお年寄りの方が「私達は、もう温泉に入れるなんて、とうてい不可能な事と諦めて居りましたのよ、今日は思いがけず湯布院のお湯を運んでいただいて…」と、涙ぐんでお礼をのべられ、参加した私共までが、この様なさゝやかな奉仕によりまして、逆に大きな喜びを頂いている事をしみじみ感じた一日でした。

松井ゾーンチャーマン、山本会長、油布幹事、一年間本当に御苦勞様でした。

来期は又、天神工房で、楽しくお針子奉仕をさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

テールツイスターの 役目を振り返って

テールツイスター L 井川 ケイ子



今期テールツイスターの重責を不安一杯の気持でお引き受け致しましてから残す所、後4回の例会で終ろうとしております。

月2回、皆様方の前に立たせて頂いて、暖かい、ご好意あふれた、ドネーションの心を読ませて頂きます時、様々な人生模様、生活模様が想像され心が打たれる時もありました。それが又、私のエネルギー源になっていた様な気が致します。

ライオンズクラブの使命であります「我々は奉仕する」の言葉の様に、又、「限りなく大きい奉仕」活動も、会員の皆様の心ひとつのもとでの、すばらしい有意義な奉仕活動が出来て行く事を振り返り、改めて感動致しております。

又、今迄積み重ねて来た功績も、力を合せる事の限りない大きさを如実に感じております。

今、私がお人様のお力をかりずに、毎日が同じ流れの様に行動し、生活して行ける事の幸を、L.C.に入会させて頂いて、より以上に身にしみて感じますと共に、祈らずにはいられない様な気が致します。

奉仕活動にも色々な活動がありますが、今期程、金銭によるアクトの重要性を感じた事はありませんでした。毎回の例会でお金が集まるかしら、集まらなければどうしよう…アクトが出来ないのでは等々と気持ちが行き、緊張の連続の様な気が致しました。が、おかげ様で皆様のお力により、今期も現状を維持する事が出来ました。感謝、感謝の気持ちで一杯でございます。

会員の皆様方の御協力の程、心より厚く御礼申し上げます。今後共に桜クラブが益々、奉仕の和を広げ、私達のアクトを心待ちして下さっている方々に対して、良い奉仕が続けられる事を願ってやみません。又、私自身も、自分の出来得る範囲で長く参加させて頂く事を願っております。

最後になりましたが影で支えて下さった、松井Z.C始め、会長三役の方々とL山口に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

座談会

指導力育成・ライオンズ情報委員会

(出席者) 司会 指導力育成・ライオンズ情報委員会委員長 L 大山 朱 実

7R・2Z・ZC L 松井 和 子

L 明石津矢子 L 浜田一昭 L 森本攸子 L 二田初子

(風邪にて欠席)

L 大山 挨拶は、紙面の関係上割愛いたします。

残念な事にお風邪で、L 森本攸子が参加出来ませんでした。

(基本的なこと)

L 大山 この委員会は御承知のように、会長の指導力を補佐し、各委員会が活発な活動を続けられるよう指導する事を、任務とします。

例えば各委員長に対する指導についてのプログラムを作るとか、又、会員全員に対しても、教育をしなければいけません。

LCのみならず、本来は地域社会との接触を持ち、共に色々なことを企画することも、一つの任務なのです。

本年は嬉しくも我クラブから女性ゾーン・チェアマンを出したわけですから、誇りをもって活動してきたつもりです。

今から、皆様との話し合いの中で、新しい発見がある事を期待します。

(本年度したこと)

L 大山 本年度、委員会が何をしてきたかを、お話します。

・委員会を数回開き桜LCのあり方を話あった。

・例会で、ライオンズ精神、ライオンズ用語等を委員が、交代で話をした。

・反省会もした、次期のためにも。

* * * * *

これよりフリースピーキングの形式で、お話を進めます。

L 大山 では指導力委員会はどうかについて、お話を伺いましょう。

L 二田 力不足のような気がします。

L 大山 それは、どういう意味ですか？

L 二田 委員長のプログラムを作ったりなんてことは、私たちには……。

L 明石 やはり遠慮があるもんネー。

L 浜田 指導力自体が、すべきことをよく把握していないのでは……。



L 松井 何年ライオンズに所属していても、ライオンズについて、知らないことが多すぎますネ、規則とか、言葉とか、やはり、指導力委員のお話は続けるべきだと思います。勿論、用語の説明もふくめて。

L 明石 新会員の研修会を、もっとふやしたらどうですかねー。

L 浜田 新会員ばかりではないですネ。みんな知らないことがありますから……。

L 二田 その点で言えば、今年も、去年も成功しているんじゃないですか？

L 明石 続けるべきですね。この頃思うんですけど、例会が、かなり乱れているように感じるんです。

L 大山 なぜだと思いますか？

L 明石 皆様が、知らないからだと思います。

小さい事ですけど、壇上に上がるときには、必ず礼をするとか、頂いたものを一応皆様に御披露するとか、そんな昔からしてきた事が、何か 今は ……



Ｌ 松井 私もかんじます。

その時言いたいけど例会中だから、何も言えない事ってたくさんありますよね。

Ｌ 大山 そんな時は、指導力に限り発言させてもらって、一言、これはこうした方がいいのですよ、と軽く言うとか ……

Ｌ 松井 後で言おうと思ったら忘れますよね。

Ｌ 浜田 それは一つの作法だと思いますよ。

一人一人に注意するより、委員長が例会で、指導すればいいんじゃないんですか？ 遠慮しないでいいと思う。

Ｌ 大山 先ほどＬ 明石より、例会がみだれてきたとのお話ですが、例会はどうあったらいいか、今から先のために少し皆様の、ご意見をいただきます。ここは本音がほしいので、皆様の言われたことを羅列しました。

- ・例会は一方的すぎる。会員の意見をもっと求めるべきだ。
 - ・何か意見がありませんか？と必ず聞いてほしい。
 - ・参加意識がうすれる。出席の意味がない（ただ出るだけでは）
 - ・理事会で決定した事が、あまりにも簡単に例会で承認されている。反対意見も、聞いてほしい。
 - ・理事会に決定権はないと思う。例会で承認されてはじめて決まる、と言うことを会員全員が、もっと知るべきである。
 - ・理事会であったことを、もっとくわしく例会で話してほしい。
- こんな意見も、こんな意見もありましたが、こういうことに一応、理事会は決めました。
- 意見がありましたら……と言う風に。
- ・理事会報告は、幹事がしているけど、一人記録係を作ってその人が、報告したらいいと思う。

Ｌ 大山 何か魅力ある例会、又は、新しい例会等、思いついたら、意見を頂きたいのですが。

Ｌ 松井 例会等の計画は、財務計画が、時々は変わった例会をしてみようと、企画するといいですね。

Ｌ 大山 例えばどんな例会を？

Ｌ 松井 そうですねー。会員の全員が一言ずつ発言出来るような。

Ｌ 二田 それはいいと思いますヨ。

Ｌ 松井 例えば、一つのテーマを決めて、それに対する考え方を全員から一分程度聞くとか。



他人の考え方も勉強になるんじゃないですか？

Ｌ 明石 それは面白いと思います。

Ｌ 浜田 何か、桜、独特の例会を考えたらいいですね ……

Ｌ 明石 会員全員が、仲良くなったのはいいけれど、仲良しクラブじゃないんだから、もう少し毅然としてほしいですね。

Ｌ 浜田 私の肩をたたいて、あんたねーって、私、びっくりしたことがあったのヨ。言葉使いも気をつけましょうネ。仲良き中にも礼儀あり。

Ｌ 大山 ま、言葉の問題、品位の問題も加わってきますね。今、私達のクラブで一番問題になっている事は、増員、増員と言われて会員を増やすが、その増やし方を考えてほしいとの意見が、多いのですが？

Ｌ 松井 その時々、会員委員長か、会長が、どのように考えているかにもよりますが、これは桜のなかで、ちゃんと内規にのせて様々な条件のなかで、決めるべきだと思います。

Ｌ 明石 桜は、桜なりのものを作ってネ。

Ｌ 浜田 入りたい人全部を入れるのではなく、どこかで線をひかなきゃいけないですね。本来は、会員二人以上の招請によるわけですけど。

Ｌ 松井 でも又、別な考え方もありますよ。色々な人に入っていて、桜ＬＣの体質に合わない人はしかたがないけれど、退会となる。体質に合わせて、自分を高めて行きたい人は残る。私はもともとそう



思っていたのですが、結局は、桜LCの体質を、すばらしいものにしないといけませんネ。

㊦ 大山 新会員入会については、来期の問題として、この事は理事会でしっかり考えるべきだと思いますネ。

他にも、お話しがありましたけど、長くなりますので、この辺で閉めたいと思います。

最後に一つだけ、新会員が入会して「もっと素敵な会かと思ってた…」と苦言を聞くことがある、との意見もありました。

仲間意識が無いと言う人もあり、レベルの問題を云々言う人もあるとの事です。もっと全員でする、労力奉仕に期待している人もいるようです。皆で考えたいと思います。又、仲間意識でお互いに助け合う「銀の会」を作って会のためにも良かったと言う意見も出てました。

皆様、どうもありがとうございました。

㊦ 森本(誌上参加) 指導力委員会のメンバーということで、時々委員会に参加させて頂きました。

諸先輩の中に入って、ちょっぴり緊張しながら…。昨年、今年と指導力委員会として充分活動なさったと思います。今年の反省を糧として委員会を充実させて活動する様、努力したいと思います。



大会・接待・会則委員会

桜の息吹き

大会・接待・会則委員長 ㊦ 宇山典代

ひたすら思索と、模索を重ねていても日々の仕事に忙殺され、得てして自分を見失うこともままある。

しかし、しばし都会の喧騒からのがれると、風が、光が、新たな活力を与えてくれる。また、客観的に自分を振りかえる“ひととき”が持てる旅が私は好きだ。・

ふと、機内での冊子に、古処山系の山々に囲まれた黒田藩五万石の城下町、秋月・筑前の小京都の記事が掲載されていた。

桜の名所でもあるこの地の水に魅かれ、この秋月の地に仕事を求めた草木染めの作家の談で、「桜の木の皮から染める桜染めの色は、ここでしか出せない色なんですよ。」とのこと、《桜染》と呼ばれるやわらかなピンクの染物の色は、この地の水を使用しないと出せないと云うから不思議だ。と、筆者は語っ



ているが、ほんのりとやさしく、奥深い桜染めの持つ雰囲気は、我々のクラブの持味と似ている様な気がする。会員の一人ひとりが共通した価値観の中、奉仕を求め、プログラムに参加することで、よりよい人間関係が保たれ、桜LCのカラーを創り出していると思われる。

春風に舞う桜吹ぶきと、自然の創り出すハーモニーは、生命あるものを目覚めさせ、あたりに豊潤な薫りをただよわせている。春は、次へのエネルギーと、鋭気をやしなう時節でもある。

これからも純粋に人間らしく、品性、資質の向上に務め、奉仕の喜びを会員の皆と共有していきたいと願っている。

4/15(月) 大会・接待・会則委員会を開く***

来期はハンドブックの見直しもあり、皆さんの活発なご意見を拝聴でき、有意義な会であったと思う。

委員会の話し合いについては、㊦ 濱本が箇条書きで報告文を記載されているので、ご参照の程。



◇この一年間、L 山口副委員長の献身的な補佐、また委員の方々や、会員の皆様のご協力を心から感謝しています。

楽しかった委員会

L 山 口 マツ子

この一年間、宇山委員長のもとに、楽しい委員会を過させていただきました。

ビジターやゲストの出迎えや見送りで感じたことは、それぞれのかたがたについての予備知識が少しでもあったら、応待の仕方も、よりスムーズに行ったのではないかと思います。その方面の連絡を委員長までにしておいて下されると、よいのではないのでしょうか。

会則については、現在の桜ライオンズの運営の現状を比較しながら考えてみますと、少し改則の点もある様に思えます。

特に大切な副会長の選出方法等早急に附記すべきだと思いますし、その他についても会員のみなさんでよく検討、討議すべき時期ではないのでしょうか。

桜ライオンズも結成して8年、これからも心の奉仕ができる楽しい団体でありますよう願っています。

話し合いの中から

L 濱 本 蓉 子

去る、4月15日宇山委員長を囲んで大会・接待・会則委員会を5名で行いました。皆様活発な意見の中からの反省事項を抜粋してみました。

来期も又、新しい桜を目指して人と人とのよりよい交流を更に深めて、例会に参加された方々が、何か心に明るい糧を持って帰れる様な、お集りにされたいと願います。

- ① 選挙に於ける会規のみなおし。
- ② 入会についての会則は適応されているか。
- ③ 会員義務について認識をあらたに。

- ④ ライオンズ行事には、制服、制帽の着用を徹底してはどうか。
- ⑤ 例会でのドネーションは、委員長報告の前位に済ませると係がスムーズにいく。
- ⑥ LCIF基金は紙面で募集したらどうか。
- ⑦ 委員会は経過報告と共に、要望事項なども次年度に引継ぐ。
- ⑧ ゲスト、ビジターを迎えるについて。（応待をスムーズにするため事前に把握）
- ⑨ 今までのクラブの経過をふまえて、全体で質問会などを開いたらどうか。
- ⑩ 決定事項などは、その経過を区別して報告し、会員の理解を得る。

これからもがんばって

L 野 田 慎 子

平成3年8月、福岡桜ライオンズに入会させて頂き早や今年で5年目となります。

月日の去る事は早く、やっとライオンズの仕事を果す事に理解出来る様になりました。又、ライオンズの先輩達の努力と活躍に目を見張る事ばかりでした。会長始め、一同仲良くそれぞれの役目を十分に果し、日本女性も前向きである事に私は驚きました。私も一年増す毎に皆様の活動に一步一步近づいて行くのを希望していますが、自分勝手な事ですが、会社を守り、又、母であり、父の役目をする今日は、皆様方にはまだまだ近づいて行けなく思いますが、例会だけは100%出席出来るよう努力しています。皆々様の活躍に深謝申し上げると共に、私も出来る限り前向きに進む気持ちです。

皆様何卒ご指導下さる事をお願い致します。

入会して思うこと

L 山 本 純 子

木々の新芽がふくらむ季節。この度、新会員にお迎え頂きまして有難うございました。初めは、ライオンズの聞きなれない言葉や山本会長はじめ、皆々様の志を一つに和らいだ雰囲気の中にも熱心な活動に、果して私にも役に立つ事が出来るのかと戸惑と不安を

感じておりました。先日、お誘い頂いた語らいで、今迄私だけが仕事に追われ、あくせくと日々を過ごしている様に思っておりましたが、先輩方のお忙しいスケジュールの中を精一杯頑張って、何年も続けておられる様子を伺い、自分でも出来る限りの努力をしてみたいと思うようになれました。

私は、言葉でうまく表現したり文章を書いたりする事は全く苦手な方で、どちらかと言えば上手な生き方も出来ません。そんな私でも、そのうち何でも話せる人が出来たら、そして、心のゆとりと充実した生活への道を拓いて行けたら幸せに思います。

会員・出席委員会

(出席者) 司会 会員・出席委員長 L 米 永 誠 子

L 山下富美子 L 竹田美子

L 米永 この委員会は、三人ですので、思い思いの気付きを少しづつ話しましょうか。実はライオンズ誌5月号に新入会員の紹介を書いたばかりです。

L 山下 新会員の紹介は、大事な事だと思います。例会での紹介だけでは、よくわからない様ですね。

L 竹田 新入会員の紹介は、一番大切な事だと思います。例会での紹介だけでは、欠席者には全然わからないし、出席してても憶えきれないですよ。又、新入会の方に、一言書いてもらう様にすると皆、憶えやすいんじゃないでしょうか。

L 山下 次年度の委員長さん、よろしくお願いします。

L 米永 理事会であったことは、幹事が例会で報告されていますが、何回も何回も言わないと、欠席された方には、わからないでしょうね。

L 山下 皆さんが、会長、委員長のつもりで例会に参加してもらったらいいいですね。

L 米永 桜ライオンズクラブの会長提言や運営方針で、各委員



会の仕事が、のべられています、100%出席と云うのが、一番むずかしいですね。

無届欠席を無くすことから考えていかないと…。

まず会員委員会の仕事から、見ていきましょう。私は出席率を報告している者が欠席してはと思って、がんばっているんですよ。当然の事ですけど…。

L 竹田 私が欠席ばかりしているから、次期の出席委員長にされたのかと思っているんですよ。

L 米永 会員委員長だけは、ローテーションで上がっていくんですから、そう云うことはありませんけど、私もこの仕組みは知りませんでした。

出欠の返事がきていない方には、電話でおききします。でも連絡がとれない方が何人かいらっしゃいますし、大変困っています。

L 竹田 出欠のハガキを持ってまわっているのが現状ですね。

L 山下 ポストが見つからない時は、ビルに入って、管理人さんに、ポストはありませんかと聞くこともありますよ。

L 米永 出席しない会員にはスポンサーより言っていた方がいいですね。2、3年はその会員をしっかり応援してくださる様にお願いしたいと思います。

L 山下 ブラザークラブへの出席を奨励するとありますが、女性クラブが、だん

だん多くなっていますから、旅行される時には、その地区の女性クラブを訪問し、どんな活動をしていらっしゃるかお聞きする様になったらいいいですね。国内で、桜と名のつくクラブと交流をもったりするのは、いいですね。



L 米永 桜と名のつくクラブは、いくつ位あるんですか。

L 山下 四クラブか五クラブあるんじゃないでしょうか。

L 米永 全国の桜の会も楽しいと思います。

L 竹田 どこの地区にあるのか知りたいですね。

Ｌ 米永 ところで竹田さんは、チャーターメンバーですね。

Ｌ 竹田 何もわからずに、入会しましたが、交際範囲が広がり、今は楽しいですよ。いろいろ勉強させていただいています。

Ｌ 山下 女性にしか出来ない裁ほうのボランティアなら許すと、やっと主人から許しが出たんです。

嫁の仕事が60才で終わったのですよ。私の戦争が終って、さて私は何をしようかと思った時、おまえは、年寄りの看病もよくわかるし、そう云う仕事なら出来るんじゃないかと。

Ｌ 米永 男性と同じ事をしても、しかたがない。

Ｌ 竹田 よそがしたからではなくて、独自の桜としてのアクティビティをしたいですね。

Ｌ 山下 4月号のタウン誌に、障害児を持ってるお母さんで、どんたくに障害児を出そうと思っているが、揃って着るものがほしいと云う様な記事が出ていて、その方に電話したら、反応があり、ピエロの首飾りを頼まれ作りしました。輪が広がり400名位の団体になり、高校三校からバトンガールが申し込まれたそうですよ。

Ｌ 米永 お母さん方の小さな輪が集まって、横のつながりが広がって、障害児の方もその車椅子を押すお母さん方、ボランティアの方も一緒になって、どんたくに出るって、すばらしい事ですね。

Ｌ 竹田 大きな施設ではなく、ボランティアの手もとどいていない子供達に何かしてやりたいですね。

Ｌ 米永 次から次と有意義なお話が出て来て楽しかったですね。ありがとうございました。最後に新入会員の一言を紹介したいと思います。

Ｌ 館野 入会してよかった。多くの方々とお友だちになれて、小さなボランティアも出来て楽しく思っています。

Ｌ 原田 入会してまもなく1年になりますが、まだ“奉仕”が自分なりにつかめていない状態です。頑張りたいと思います。

Ｌ 小西 自分探しのきっかけになり、ライオンズクラブの一員となって生きて



いく道に努力し、皆様のお役にたちたいと思っています。

Ｌ 石井 奉仕の社会を知って、こういう社会があったんだなあと思って、自分もこれから出来ることは、していかななくてはと感じました。

Ｌ 山本 奉仕が出来るかどうか、自信はないけど、皆と一緒に一生懸命がんばろうと思っています。

Ｌ 高倉 すばらしい先輩と一緒に、人の為につくす事は人間としてやらなければならない事だと思っております。

ライオンズに染められつつ、自分なりに勉強し、奉仕をしていきたいと思っています。

財務・計画委員会

(出席者)

担当理事 Ｌ 日下部 房子

司会 財務・計画委員長 Ｌ 吉 松 セツエ

Ｌ 梶谷敬子 Ｌ 長友美智代 Ｌ 田中葉子 Ｌ 三坂万里子 Ｌ 河野希代子

Ｌ 吉松 今年度の花の語らいは、各委員会ごとに座談会を持ち、それを編集する事になりましたので、皆さん活発なご意見をお聞かせ下さい。

私達の委員会では、毎月1回行われる予定の卓話の人選。納涼例会、講演会、資金獲得事業等々の計画やお世話、又、オークションを行う等、大変多くの仕事を皆さんで、なんとかこなして来ましたが、まず卓話に関してからお話下さい。

Ｌ 三坂 私をご紹介しました方は、農業に直接ご自身が携わっている方でしたが、今迄あまり直接消費者との関りがなかったので、自分の立場を理解して頂く意味でも、とても良かったと喜んでいらっしゃいました。

- Ｌ長友 私は、農業に大変誇りを持ってやっていらっしゃるのに感心しました。
- Ｌ日下部 今年は、あまり卓話はなかった様でしたが、やはり話題は政治経済のお話より、もっと私達が身近に感じるお話しを、これからも聞きたいですね。
- Ｌ吉松 卓話も大切な事でしょうが、私は3分間スピーチを、もっと沢山の方々に話して頂きたいですね。
- Ｌ日下部 同感ですね。特に新入会員の方が話し下されると、もっとライオンズが身近に感じられると思います。
- Ｌ長友 でも、なかなか人前でお話しする事がどうもと、おっしやいますね。
- Ｌ吉松 そうですね。では、入会されてまだ日が浅い河野氏は、どの様にお考えですか。
- Ｌ河野 私も指名されれば、1度はきっとお断わりすると思います。人前でお話しすると、すぐにあがってしまって…でもその時は、決心して頑張ると思います。
- Ｌ田中 お話しは何でもよいのですよ。皆さんの前でお話しをする事は、1日も早くライオンズが、より身近かになると思いますので、是非これからは、新しい方にもお願いしましょうよ。
- Ｌ梶谷 これは上手とか下手ではなく始めは誰でもあがって、なかなか言葉が出ませんよね。
- Ｌ三坂 だいたい、いやだという方が立派なお話しをされる方が多いですね。
- Ｌ梶谷 私も人前でお話をする事には、少々抵抗がありますね。
- Ｌ日下部 でも、又それが自信にもなると思いますので、どんどんチャレンジして貰いたいですね。
- Ｌ吉松 では、次に8月に湯布院で持出し納涼例会をしましたが、これに関してお聞かせ下さい。

▷納涼例会

- Ｌ長友 大変場所が遠かったのも、色々な意味で、負担がかかったのではないかと思います。オークションの品物は持っていかななくてはならないし、又、往復にも、とても時間がかかって、向こうにいる時間も限られま

すから。

- Ｌ日下部 帰りには皆さん大変つかれていました。最初は歌等うたっていました、後にはもう、ぐったりでした。
- Ｌ吉松 準備も大変でした。ある会社の保養所をお借りしたものですから、会長と私と、Ｌ梶谷とで前日から泊りこんで準備をし、又、後かたづけも、ご迷惑をかけない様にと、皆さんに手伝って頂きましたね。
- Ｌ長友 準備に追われて楽しみにしていた温泉にも入れず残念でした。
- Ｌ田中 私達で食事のお世話から、すべての準備をするのは無理な事ですし、もうすこし、近いところの方が良いと思います。
- Ｌ吉松 湯布院で例会をすると言うこと、又、温泉もあるということもあってか、皆さんとっても喜んで下さって、40人近い出席でしたね。
- Ｌ日下部 私は、何もお手伝いしなかったし、又、お風呂にも入りましたので、楽しかったのですが、でも係の方達は大変だったと思います。これからはもう少し近い所がいいですね。
- Ｌ吉松 では次に私達の1番大きな仕事となりました、チャリティゴルフについて、お願いします。

▷チャリティゴルフコンペ

- Ｌ日下部 これは資金獲得という意味では、すごく良かった様に思います。が、ゴルフを私は知らないから、と言う理由で欠席された方が多い様に思いました。何と言っても私達クラブの最大のイベントですから、みんなが一つになって参加して頂きたかったですね。
- Ｌ梶谷 出席者の人数はよくわかりませんでした、初めてのゴルフコンペでしたので、以前から随分準備はしていたつもりでしたが、大変戸惑いましたね。
- Ｌ長友 あれこれと手違いもあって走り廻りましたよ。もうすこし、お手伝いの方達が多かったらと私も思いました。
- Ｌ河野 参加者の人集めはどの様にされたのですか。
- Ｌ吉松 これはクラブの方全員であたりました。他のクラブにお願いしたり、

又、家族や知人、友人、親戚の方々迄広い範囲でお願いしました。お陰様で200人からの参加があり、始めてクラブで催したゴルフコンペにしては、大成功だったと思います。

Ｌ 田中 それで、どの位の収益があったのですか。

Ｌ 吉松 お陰様でだいたい120万円位でした。本当にありがたかったと思います。賞品も協賛して頂いた企業からも頂きまして大変感謝しております。又、Z. C. のL 松井や山本会長の女性ならではの素敵なカップも花を添えていただき大変好評でしたね。でも終わってみて、反省する事も多々ありました。

Ｌ 梶谷 そうでしたね。初め私達の委員会では、準備委員会を設けてはと話し合いましたが、やはりこれは絶対に設けるべきだったと思います。

Ｌ 長友 準備委員会で、もう少し仕事を細かく分担する事で、もっとスムーズにいったと思いますね。

Ｌ 三坂 不馴れな為に随分あわてましたよね。又、行き届かなかった所も多かったと思います。

Ｌ 日下部 来年からの資料にする為にも、終わってすぐに全員で反省会をしなければなりませんでしたね。

Ｌ 吉松 全く同感です。なにしろ初めてのことでしたからね。次に、11月に健康に関する講演会という事で、桐島洋子さんをお呼びしましたね。これに関しては、私達委員会では、お手伝いは全々しませんでした。これについて、皆さんのお考えをお聞かせ下さい。

▶ 健康に関する講演会

Ｌ 梶谷 講演会の計画や、お世話をするのも、私達委員会の仕事ではなかったのですか。どの様に計画されたのでしょうか。

Ｌ 吉松 この計画は、ずっと以前から西日本新聞社と話合いが出来ていた様です。私もよく知らないのですよ。

Ｌ 長友 最初から、私達委員会も計画に加って決めていくべきではないのですか。

入場者もあらかじめ新聞社の方で決めてありましたし、又、受付も手伝いも必要ないと言う事だったので、私は欠席しましたが、他にもこの様な方が多い様でした。

Ｌ 日下部 後日、新聞に当日の様子が掲載されましたが、費用はどれ位かかったのですか。

Ｌ 吉松 財務委員長として申訳ないのですが、私は全々関わっておりませんのでよくわかりません。が、講演会費用と共に230万円位と聞いております。

Ｌ 田中 そんなにかかったのですか。

Ｌ 梶谷 私達、財務計画委員会が何も知らずに終わってしまった事は、残念に思います。

Ｌ 吉松 私も大変残念に思いました。では、この他に、2月に山の上ホテルで行ったチャーターナイト記念例会の時のオークションも、皆さんで頑張りましたよね。お陰で売上げも60万円位ありました。又、5月には、親睦旅行のお世話等、楽しみなお仕事も残っていますが、皆様のご協力で何とか多くの仕事をやり遂げる事が出来ました。1年間本当にご苦労様でした。

これで座談会を終わります。長時間ありがとうございました。



公衆安全・社会福祉委員会及び市民・環境保全

アクティビティ・教育・レクリエーション委員会

出席者

担当副会長 L 山 下 富美子

公衆安全・社会福祉委員長 L 次 田 政 子

司会 市民・環境保全・アクティビティ・
教育・レクリエーション委員長 L 野 田 恵美子

L 入江恭子 L 岸川靖子 L 吉田由美子 L 中島寛子 L 湯朝麗子 L 館野弘子

L 野田 皆様、本日はお忙しいところ、お集り頂き有難うございます。お蔭様で社会福祉及びアクティビティ委員会の役目も、皆様の暖かいご支援とご協力のもとで無事一年を終えようとしております。有難うございました。心より感謝申し上げます。

扱て、本日は、これまでの数多くの奉仕の中での反省、要望、又、感想等お話頂ければと思います。では、館野Lからお願いします。

L 館野 感想と言われましても、何から言っても良いか分かりませんが、たゞ一



生懸命でした。とにかく桜ライオンズに入って楽しかったし、良かったというのが本音の感想です。山下工房での作業も楽しかったので、忙しくても少しの時間を作って手作業も頑張りました。いい方に大勢出会った事にもなりました。

L 野田 L 館野は、桜に入られて初めての経験でしょうから、アクティビティの事ばかりでなく他の事も新鮮に映られた事でしょう。他に関するご意見もございませんか。

L 館野 兎に角、私の出来る範囲で頑張りたいと思います。

L 野田 先程の良かったとの感想について、どんな所にそれを感じましたか。

L 館野 色々な方達との出会いでしょうか、一人ひとりそれぞれ個性のある方ばかりで、バイタリティがあって輝いている女性の集まりという感じで、大いに刺激され、私自身が大いに燃えました。



L 野田 それは大変良かったですね。他に注文というか改善して欲しい様な事はありませんか。

L 館野 まだ、一年生ですので分りません。これから少しずつ出てくるかもしれませんが、現在のところ満足しています。

L 野田 ところで中島Lは、如何でしょう。

L 中島 山下工房で、折紙とかお針仕事等、楽しく、又リラックスした雰囲気の中で、たわいないおしゃべりも良かったですね。

L 次田 皆様一度ここに顔出しされると、おもしろい所だということが分ってもらえるんですけども……

L 野田 山下工房の手仕事については、次回のアクティビティ・社会福祉委員会の方達も、是非この作業に、少しの時間でも参加して頂く様お願いしたいと思います。手仕事の他に、家庭医学、料理、又は社会問題まで幅広い知識を身に付けられる、そんな楽しい所です。

L 次田 ただ、ほとんどの会員の方が、お仕事をもちながらの集りですから、忙しいという事でなかなか参加して頂けないのが残念です。でも時間は見つけないと出てこないと思います。自分なりの生活スタイルの中で、提供出来る時間を見つけて、継続アクティビティとか山下工房は、例会日の様に日が決まっているのですから、月初めに、この日とこの日はライオンズデーと決めて、その日を取っておく様にするといいと思いますね。

L 館野 例会に見えてない方も多い様に思いますが、桜に入会してる限りは、

幾らかの時間は無理をしても作り出すべきだと思います。

- Ｌ 山下　ここは勉強を兼ねた作業場です。ライオンズ用語等、ざっくばらんに雑談しながら会得していくのも、いいのではないのでしょうか。
- Ｌ 次田　岸川Ｌも、お忙しそうですが、何かご意見はございますか。
- Ｌ 岸川　忙しい時間を工面しながら、出席して、楽しんで帰って来ております。
- Ｌ 次田　スポンサーはＬ木原ですね。入会のきっかけは何でしたか。
- Ｌ 岸川　木原Ｌとは親しく悩み事等聞いてもらっておりました。「桜ライオンズには、いい方ばかり揃ってらっしゃるから、入会したらどうですか」。と言われまして、皆さん働く傍ら、短い時間の例会で燃焼していらっしゃるやり方を、私なりに取得しているところです。
- Ｌ 次田　桜のメンバーの方達も多分、大なり小なり悩みを抱えていらっしゃると思います。
- Ｌ 岸川　例会に出席することによって、厭な事は忘れて、発散して次に進む、前に進む、そして明るく生きていく、そんな風に力づけられております。
- Ｌ 次田　吉田Ｌは、ボランティアについては、何かお考えがあって入られたのですか。
- Ｌ 吉田　桜ライオンズの事は兼々、噂を耳にしておりましたが、入ってみて受け取り方が随分違っていたなって驚きました。だから、主人に申しました。男性グループにない、女性なりのやり方で頑張ってるって…嬉しくなりましたよ。友達も出来ましたし、とても勉強になっております。
- Ｌ 岸川　私のところ医院なのですが、夫婦二人、共同で頑張っている間には色々と苦労もありました。皆さんの所も同じかもしれませんが…。
- Ｌ 吉田　私も商売でいやな思いをした事があります。営業で参りますと、“女”かって言われるんです。女では何も出来ないと思ってある方が、まだまだ大勢いるんです。
- Ｌ 次田　大体に於て、男性社会の流れで来ている中で、何かと不利な立場になる女性ですが、男性と同じ第一線で働き、家事も、そしてボランティアもこなしてある方が、桜には大勢いらっしゃるんですよ。そして、しかも堂々としてお若いんです。

- Ｌ 吉田　それとですね。ライオネスの活動とは、全然違いますね。桜は主体性をもって行動しているという事です。



- Ｌ 山下　皆さん、それぞれの人生を生きて、仕事も持って、そしてどこかで共通するものがあるのですよ。

- Ｌ 湯朝　私も入会して一年少々になりますが、例会に出席する度に新鮮さを感じております。奉仕の方も参加する度に社会の中の一部を知ることが出来ました。
- Ｌ 入江　今日、テレビでやってた事なんです、一流企業の部長さんクラスの人の話でしたが、かつての自分を考えた時、仕事の時の表情が、大事なお客さんとの接触で、つくり笑いと言緊張の連続であった、そんな人生から退職した後の第二の人生を福祉の場に向けたそうです。そして本当の笑顔に巡り会えて… これこそやりがいのある仕事だと感じてあるわけです。私も自分の身に置き換えてみて、かつての私もその通りだったんです。経営上のプレッシャーから、気が付いたら、社員に対して、いつもしかめっ面してるんです。そんな折桜ライオンズの事、紹介されて、その時からです、笑顔を取り戻していこうと……それには良い事をさせてもらおうと思いました。
- Ｌ 野田　私はこの作業場に来て、折り紙をおったり、縫ったりして物を作る事を何年か振りにさせて頂き、ボケない為に一番いい仕事だと思っております。還暦も過ぎて、この仕事に出会えて喜んでいます。又、老人ホームなど訪問して、自分もだんだんこういう事になって行くんだと思うと同時に、桜の先輩達の若さが一しお鮮やかに見えました。自分も先輩に見習って、元気で美しくボランティアを長く続けられる事を願っております。
- Ｌ 入江　皆さんからよく、習い事の稽古で忙しいとか聞かされますが、私はそ

の事より桜の時間の方を選んでいるんです。その方が誰かの為になってると思ってですね。

Ｌ 野田 本当にそう思います。それと同時に、私は自分自身の為になっていると思うんです。一つ一つ勉強させて頂いたという実感の一年でした。孫も中学生なんです、ユニバーシアードで多くの外国の人とカタコト英会話でのボランティア経験をしましたので、今は共通の話が出来るんです。この事によって広い世界が、ぐっと身近になって、孫と共に会話を楽しんでおります。

Ｌ 次田 ボランティアの精神が日本にも、大分、浸透してきているこの頃です。若い世代の人達にどんどん定着していくことでしょう。“情は人の為ならず、即ちボランティアは人の為ならず” 回り回って自分の為である。皆様のお話を伺ってるうちに、そんな風に思えて参りました。

Ｌ 野田 今日は貴重なご意見を有難うございました。今後共ご活躍を期待致します。

YEプログラム・国際関係プログラム委員会

出席者 司会 YEプログラム・国際関係プログラム委員長 西川 ともえ

木原園枝 原田則子 秋山トシ 吉福由美代

“よもやま噺”



Ｌ 西川 今回は、委員会毎の座談会形式で色々なことを話していただきたいと思います。ライオンズクラブに入会され、それぞれの思いがあると思いますが、最初はどうでしたか。Ｌ木原はチャーターメンバーですが、ライオネス

からひきつづいてですか。

Ｌ 木原 いいえ違います。桜ライオンズクラブができてからです。

Ｌ 西川 ｾ大山が創立の時の幹事だったと聞いていますが、大変だったでしょうね。

Ｌ 木原 ｾ明石が会長でした。そしてｾ秋山のご主人が、ガイディングライオンで一番大事な時期で、ご苦労されたと思います。

Ｌ 吉福 私はｾ森本が会長の時、スポンサーしていただき入会しましたが、入って初めてスポンサーというシステムを知りました。私はあまりお役に立ってはいませんが、色々な人にお会いできるし、おつきあいができるのですばらしいですね。

特に異業種の方とおつきあいができますしね。

▷ 活発な桜ライオンズ

Ｌ 吉福 活動が活発なのにはびっくりしました。毎月の例会にしても他の団体の会議に比べ時間的にパッパッと進み、見習わなければと思っています。

Ｌ 木原 何がライオンズの魅力なのか、すごいパワーがありますね。何の違いがあるのかしらと思います。

Ｌ 秋山 以前ライオンズは、男性にしか会員になれなかったのですが、女性会員も国際的に認められるようになり、ライオネスではなく、ぜひライオンになりたいというので、桜ライオンズができたのです。でも最初の頃は男性と同じように、できるはずがないという声がありましたけど。

Ｌ 西川 ライオンズというのは、まず男性だけの会だったのです。男性の会というのは組織的、合理的にできていたのですが、そこに女性だけの会ができて、運営も同じようにするようになったわけですね。

Ｌ 木原 いいところを取り入れて、女性としてのきめの細やかさを入れて最後までキチンと行き届いていますね。

Ｌ 西川 この会に欠席のｾ山川のメッセージがそれを示しているようです。

“今日も布を染め、花を造っています、この事が私の生活の一部です”



が、布花造りの中から多くの人達との出会いがありました。ライオンズには入れたのもこの花達のおかげだと思います。そして素敵な方々にお会い出来、お教えいただき、私にとってアトリエ以外勉強になっています。これからもよろしくお願い致します。”

山川 久美子

- Ｌ 秋山 本当に年代も同じようなので相談相手にいいです。
- Ｌ 西川 Ｌ原田、Ｌ山川も昼は絶対に出席できない人もいらっしゃいますが、いかがですか。
- Ｌ 原田
則 私はチャーターメンバーですが、皆さんよくされていますね。私より後に入られた方が多いのですが、忘れられているのではないかと思う時もあります。でもたまに行ってもその時間は十分に楽しめますし、私にも何か役に立つのではと思えます。
- Ｌ 木原 最初からのメンバーで、慣れていらっしゃるので、いつも出席しなくても一体感があるのでしょうか。そこの辺が新しい人とは違いますね。でも新しい人達の中には一寸入りにくいとも聞きますが。
- Ｌ 西川 スポンサーが新入会員が慣れるまで一年間は責任をもって世話するのがいいと思います。
- Ｌ 原田
則 個性のある人ばかりですね。普段はどうしても同業者の人とおつき合いです、ここでは色んな立場の人がいて話が聞けるのが面白いです。
- Ｌ 木原 例会の時あまり話す機会がなく、このように例会以外に会合があるのを、もっと知りたいという人がいますが……。
- Ｌ 西川 本当に、例会だけでは2時間位集まって終わったら“又ね”とか言って別れる。それでは味けなく面白くないですね。例会の後グループでコーヒーを飲む人達もいますが、声がかからなければ、入り方がむずかしいですね。
- Ｌ 木原 誘ってもらおうと行きますけど、例会以外で皆で話せる機会というのは、よそに行った時の行き帰りとか、旅行の時などですね。
- Ｌ 西川 親睦旅行は皆さんどうですか。

- Ｌ 吉福 丁度その時、四国の八十八ヶ所のお遍路さんで行きますので参加できません。去年四十四ヶ所行きまして、今年が残りの四十四ヶ所と高野山に行きます。最後は必ず高野山です。もう四回で八年目です。商売柄、事故とかがありますから、母からずっと続けて行っていました。そういう宿命なのでしょうか。白装束で行きます。それは、どこで行き倒れてもそのまま葬ってもらえるという経帷子（きょうかたびら）という死装束なのです。

- Ｌ 木原 私は松本清張の“砂の器”をよく思い出します。

- Ｌ 吉福 巡礼とお遍路さんの違いを質問されたことがあります。巡礼はおこもりさんのように少しづつもらいながらまわり、お遍路さんは、自分の精神修養の為にまわります。

- Ｌ 秋山 人生っていろんな歴史から見たら、まばたきする瞬間と思います。それ位しかないと思います。それでＬ吉福の顔は達観して明るいのでしょうね。

- Ｌ 木原 そうですね。こうしてライオンズの例会などに行きますと、Ｌ明石とか皆さん、ご高齢の方が生き生きとしてらして、いつも帰ってから、あれやなくちゃと思います。ありがたいと思います。

- Ｌ 原田
則 私もあの年令で自分ができるかしらと思います。

- Ｌ 秋山 皆生き生きとしてらして、そういう人に出会えたというのが、ライオンズに入ってよかったと思います。

▷ YE・国際委員会として

- Ｌ 西川 委員会としてこの一年間、あまり何もしていませんが、夏期派遣生も二人申し込みがありましたが、結局辞退されました。夏の受け入れは申込みをしています。



Ｌ 末松のメッセージ

“今年の夏は我が家に外国の方を迎えたいと思います。子供達と国際交流が出来ればと…楽しみにしております”

Ｌ 木原 今期の当委員会活動は、台湾の新竹慈慧ＬＣ訪問のお世話でしたが、台湾ではどんなことをされたのですか。

Ｌ 西川 一回は行くことですね。大歓迎を受けました。二日目の「創世請寒物植物人安養院」という施設訪問では、新竹慈慧ＬＣがベッドを寄付し、活発な奉仕活動をしていました。



▷ 奉仕活動について

Ｌ 西川 おむつたみとかの奉仕活動がありますが、ほとんど同じ人ばかり行っているようです。

Ｌ 木原 声をかけてもらうと行き易いのですが、例会に声をかけてはありますが、もっと積極的な方法を考えていただきたい。

Ｌ 西川 クラブにはじめて入られた人で、何をしているのかわからないと思われる人も多いと思います。おむつたみとかは、ライオンズ本来のすばらしい奉仕活動の一つであると思います。一年に一度も行ったことがない人もいるようです。強制はできませんが、前期、後期に１回づつでもいいですから、委員会毎に当番の日を決めたらどうでしょうか。どうしても行けない人はよいですが。

Ｌ 原田 私は土、日だったらいいのですが。それも考えていただきたいですね。



Ｌ 木原 親しくなる機会というのはそういう所に行き、そしてその前後の行き帰りとかではないでしょうか。他にわざわざ食事会とかは必要ないと思います。

Ｌ 西川 まだまだ話はつきませんが、Ｌ秋山の、年をとったら町の真ん中のマンションに住むべきとか、Ｌ木原の痩せるお話とか（これは大変参考になりました）Ｌ原田たつみのメッセージが、私達の思いを述べているようです。最後にしめくくりとさせていただきます。

“桜ライオンズに入れて戴いて初めての所属が
ＹＥでした。何も分からず何もしない１年でし
た。何年先になるか分かりませんが、今年はこ
んな事をしましたと皆様に報告できる様になれ
たらと念じています。

私の今の目標は、お互いに欠けている所を補い
合い、心の道草をたくさんとって素敵な出逢い
を重ねる事が出来たらと想っています。

今後共どうぞよろしくお願い申し上げます”

原田 たつみ

「視力聴力保護・薬害・保健・

糖尿病教育・レオプログラム委員会」

(出席者)

視力聴力保護・薬害・保健
糖尿病教育・レオプログラム委員長 Ｌ 齊 藤 敬 代

Ｌ 宮本佳代 Ｌ 豊原典依 Ｌ 熊谷和子 Ｌ 小西照子

なかなかみんなが集まる事の少ない委員会だったのですが、昼食をとりながら、色々の意見が飛びかいました。その中で以前に、視力ファーストで会合に出席したが、例会でその結果報告を充分にする時間がなくて残念であった事。各委員長も理事会に参加する事によって、意見を会に下げていった方が良いのではないだろうか。との意見も出ました。

委員として、色々な大きな会合に出席することによって、ライオンズの働きや、大きな流れがわかるから、まず出席することが大切だともう。又、会長はじめ、役員さん方の努力に感激ですとの話も出ました。

リラックスした中での話し合いの中で、このように意見を出し合って、それぞれの委員会が、今年は何をやっていくかを話し合う機会を、まず始めに作ってほしいという意見、これは委員長である私の反省でもあります。担当理事等に助けられながらの一年でしたが、時間のゆるすかぎり何でもするつもりでおりました。足らざるところを許されながら、それぞれの委員会の仕事を覚えさせていただいています。ながい目で、楽しみながら、仲よく私達に出来る「何か」に気づいていきたいとおもいます。



寒さにたえながらの献血を終えて



スリランカへ贈った古メガネケース

次期会長就任にあたり



第一副会長 L 濱田 光江

一年たつのが何と早いことでしょうか。昨年の今頃はまだ幹事として「花のかたらい」の編集や、引継ぎ等の残務整理に追われておりました。

それが今、次期会長としての原稿をPR委員長の古賀より請求され、実際のところ少々慌てております。

歴代の会長さん達が築いてこられた歴史と伝統を守りながらの一年間は大変です。私には荷が重すぎます。でも色々悩んでも仕方ないので飾らずに、地のままに進もうと決心致しました。

初めて理事に就任した理事さんも、又初めて委員長の経験をする人も皆、私と一緒に一年生ですので、各委員会活動を中心に皆さんの力を合算し、楽しい例会・無理のない奉仕活動为目标に一年間がんばります。

会員の皆様のご指導とご協力を重ねてお願い申し上げます。

『感性豊かに広げよう心の奉仕』

- 7月 ◇第78回国際大会（ソウル）6名参加
 ◇ベシヤワール会支援
 ◇施設へ寄贈 手作りおもちゃ製作
 （毎週金曜山下宅）
 ◇博多さくら園、おむつたみ努力奉仕
 （毎月第3水曜）



第78回国際大会（ソウル）



夏期街頭献血



ユニバーシアード福岡大会ボランティア



「敬老の日」博多さくら園慰問

- 10月 ◇百道松風園遊具修理協力 196,500円
 ◇筑紫少女苑運動会参加
 ◇レオ秋季オリエンテーション
 登録20名
 ◇ライオンズ奉仕デー
 特別養護老人ホーム「ビハーラ」へ
 湯布院より温泉の湯を運び温泉まつり

- 8月 ◇スリランカ・アリヤラトネ博士来福、
 支援金10万円、及び古メガネ40個寄贈
 ◇博多さくら園夏まつり参加
 ◇筑紫少女苑盆踊り大会参加
 ◇レオ夏期研修登録25名、福岡桜LC特製うちわ寄贈
 ◇夏期街頭献血運動奉仕、及び一般市民へうちわ配布
 ◇松風園・松風園祭参加、及び、パザー商品寄贈
 ◇ユニバーシアード福岡大会ボランティア
 （外国選手出迎え誘導そして桜のうちわ配布）
 ◇納涼例会オークション（湯布院にて）
 益金 675,700円

- 9月 ◇敬老の日、博多さくら園慰問、及びおすし職人派遣
 ◇姉妹C台湾新竹慈慧LC来日、共にひまわり園訪問
 ◇博多さくら園の方を観劇招待、及び引率



姉妹C台湾新竹慈慧LC来日



湯布院より温泉の湯を運び温泉まつり

- ◇“身体の不自由な子供たちへ
 クリスマスプレゼントを”
 チャリティゴルフ大会開催
 （ザ・クィーンズヒルゴルフ場）
 益金 1,219,191円



チャリティゴルフ大会



一般市民を対象にした講演会 桐島洋子氏

- 11月 ◇一般市民を対象にした講演会（明治生命ホール）
 「美しく時を重ねて」主催
 ■講師 九大医学部第二内科 藤島 正敏 教授
 評論家 桐島 洋子氏

- ◇上記講演会内容、西日本新聞PR掲載
 ◇ときめきフェスタ「障害バンド」見学

- 12月 ◇中学生作文「家族」第4回募集そして表彰
 ◇筑紫少女苑へ桜の木寄贈、植樹式参加
 ◇LCIF基金 クラブ 1,000ドル
 個人 1,000ドル×31名
 ◇南福岡病院こぼと病棟・松風園・施設
 「JOY倶楽部」の子供たちへ
 クリスマスプレゼント
 ◇アジアフォーラム参加（香港）



南福岡病院こぼと病棟へクリスマスプレゼント



姉妹C台湾新竹慈慧LC訪問

- 1月 ◇姉妹C台湾新竹慈慧LC訪問記念例会参加
 及び、創世請寒植物人間安養院慰問
 2月 ◇冬季街頭献血運動奉仕（信金ビル前）
 ◇チャーターナイト記念例会オークション
 益金 641,600円
 ◇簡易保険還付金
 100万円収益

- 4月 ◇337A地区42回年次大会全員登録参加（福岡サンパレス）
 ◇博多さくら園開園記念式参加
 ◇筑紫少女苑観桜会参加
 ◇福岡県青少年育成県民会議賛助
 5月 ◇複合地区年次大会参加9名（福岡サンパレス）
 6月 ◇クラブ誌「花の語らい」編集
 ◇簡易保険還付金 50万円収益



筑紫少女苑観桜会参加



紫陽花の花が、みごとに咲きほこるこの時期に、我福岡桜ライオンズクラブも7年目を終えようとしております。

今期は、各委員会で座談会を開き、皆様のライオンズに対する、いろいろな思いや、ご意見を語って頂きました。それを各委員長さんが、まとめて頂き、そのご苦勞のお陰で今回のクラブ誌が出来上りました。

皆様のご協力に対し心より感謝申し上げます。

不行き届きの点が多々あるとは存じますが、寛容の精神でご愛読いただければ幸いに存じます。



~~~~~  
「花の語らい」

発行 福岡桜ライオンズクラブ  
編集 PR会報編集委員会  
発行日 平成 8年6月30日  
印刷 末松印刷株式会社  
福岡市博多区東那珂2-4-36  
TEL (092) 411-6131  
~~~~~



FUKUOKA SAKURA
LIONS CLUB

